



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 オーナンバ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5816 URL <http://www.onamba.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 木嶋忠敏
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役管理統括部長（氏名） 熊谷康浩（TEL）06-7639-5500
 半期報告書提出予定日 2026年8月7日 配当支払開始予定日 2026年9月7日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）
 （百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	24,103	13.3	1,102	△1.5	1,104	24.2	653	9.9
2025年12月期中間期	21,282	△5.4	1,119	30.6	888	△22.3	595	△69.0

（注）包括利益 2026年12月期中間期 2,191百万円（－％） 2025年12月期中間期 △192百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	53.66	—
2025年12月期中間期	48.83	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	45,256	30,324	65.6
2025年12月期	42,051	28,409	66.0

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 29,672百万円 2025年12月期 27,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	20.00	—	21.00	41.00
2026年12月期	—	35.00	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	—	—	35.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	5.8	2,700	3.8	2,700	10.6	1,900	25.4	155.91

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期中間期	12,558,251株	2025年12月期	12,558,251株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	371,610株	2025年12月期	371,588株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年12月期中間期	12,186,657株	2025年12月期中間期	12,186,663株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結貸借対照表に関する注記)	9
(セグメント情報)	10
(収益認識関係)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

1 当中間期における業績全般の動向

当中間連結会計期間(2026年1月1日～2026年6月30日)における当社グループの経営環境は、ロシア・ウクライナ紛争の長期化、中国市場の低迷、原材料価格の高騰や為替相場の変動に加え、中近東情勢の緊迫化や米国の通商政策の動向など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況において、当社グループでは、中期経営計画「PROGRESS 2026」の下、エネルギー新時代に即した「グローバルな総合配線システムメーカー」の実現に向けて、成長戦略、生産戦略、経営基盤強化と資本コストを意識した経営に、着実に取り組んでおります。

当中間連結会計期間の業績について、売上面では、日本およびアジア(日本除く)における産業機器市場の需要が堅調に推移しました。あわせて、円安による為替換算上の理由、ならびに原材料価格の上昇に対する一部の製品価格の改定等により売上高が増加しました。その結果、当社グループの売上高は前年を上回りました。

利益面では、北米市場におけるペソ高による為替変動に加え、原材料価格の上昇や品種構成の悪化等が利益を圧迫しましたが、売上高の増加による増販益に加え、グローバルでの原価低減活動による利益の改善に取り組みました。その結果、営業利益は前年とほぼ同額になりました。一方、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、為替が前年期末より円安方向に動いたことにより前年を上回りました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は24,103百万円(前年同期比13.3%増)、営業利益は1,102百万円(同1.5%減)となり、経常利益は1,104百万円(同24.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は653百万円(同9.9%増)となりました。

2 セグメントの業績

期別 セグメント別	売上高			営業利益		
	前中間連結 会計期間 (百万円)	当中間連結 会計期間 (百万円)	増減率 (%)	前中間連結 会計期間 (百万円)	当中間連結 会計期間 (百万円)	増減率 (%)
日本	11,572	12,799	10.6	659	750	13.8
欧米	5,875	6,566	11.8	40	△77	—
アジア (日本を除く)	3,833	4,737	23.6	426	430	1.0
消去	—	—	—	△5	△0	—
合計	21,282	24,103	13.3	1,119	1,102	△1.5

(注) 増減率につきましては、表示単位未満を四捨五入しております。

①日本

当中間連結会計期間は、産業機器市場において、ワイヤーハーネス・電線を中心に需要が堅調に推移しました。あわせて、原材料価格の上昇に対する一部の製品価格の改定等により売上高が増加しました。その結果、日本での売上高は12,799百万円(前年同期比10.6%増)となりました。

利益面では、原材料価格の上昇や品種構成の悪化等が利益を圧迫しましたが、売上高の増加による増販益等により、営業利益は750百万円(前年同期比13.8%増)となりました。

②欧米

当中間連結会計期間は、北米における自動車関連市場の需要が堅調に推移しました。あわせて、円安による為替換算上の理由により売上高が増加しました。その結果、欧米での売上高は6,566百万円(前年同期比11.8%増)となりました。

利益面では、売上高の増加による増販益に加え、メキシコ工場での生産性の改善に取り組むも、北米市場におけるペソ高による為替変動や原材料価格の上昇等が利益を圧迫しました。その結果、営業損失は77百万円(前年同期は40百万円の営業利益)となりました。

③アジア(日本を除く)

当中間連結会計期間は、中国市場の需要は引き続き低調に推移しているものの、産業機器市場における需要が堅調に推移しました。あわせて、円安による為替換算上の理由により売上高が増加しました。その結果、アジアでの売上高は4,737百万円(前年同期比23.6%増)となりました。

利益面では、売上高は増加するものの、コスト競争の激化などの影響により、営業利益は前年並みの430百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債、純資産の状況

<資産>

資産合計は、45,256百万円(前期末比3,204百万円増)となりました。主に、現金及び預金が2,874百万円、棚卸資産が1,059百万円及び投資その他の資産が1,280百万円増加いたしました。受取手形、売掛金及び契約資産が1,677百万円減少しました。

<負債>

負債合計は、14,931百万円(前期末比1,289百万円増)となりました。主に、支払手形及び買掛金が603百万円、繰延税金負債が344百万円及びその他が442百万円増加いたしました。短期借入金が230百万円減少いたしました。

<純資産>

純資産合計は、30,324百万円(前期末比1,915百万円増)となりました。主に、利益剰余金が398百万円、その他有価証券評価差額金が823百万円及び為替換算調整勘定が674百万円増加いたしました。

2. キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は10,102百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,874百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、3,625百万円の収入(前年同期は296百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益1,067百万円、減価償却費596百万円、売上債権の減少1,849百万円及び仕入債務の増加518百万円等による資金の増加要因が、棚卸資産の増加852百万円等による資金の減少要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、382百万円の支出(前年同期は826百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出345百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、673百万円の支出(前年同期は277百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入金の純増減額159百万円、長期借入金の返済による支出142百万円及び配当金の支払額255百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2026年2月10日公表の業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,228,236	10,102,839
受取手形、売掛金及び契約資産	10,971,781	9,294,540
商品及び製品	3,506,134	3,881,811
仕掛品	1,188,903	1,522,057
原材料及び貯蔵品	4,990,249	5,340,676
その他	1,360,632	958,107
貸倒引当金	△4,064	△4,509
流動資産合計	29,241,873	31,095,524
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,862,368	2,823,481
機械装置及び運搬具（純額）	2,661,276	2,605,071
土地	2,391,122	2,396,641
建設仮勘定	114,755	201,632
その他（純額）	884,750	898,019
有形固定資産合計	8,914,274	8,924,845
無形固定資産	424,490	483,676
投資その他の資産		
投資その他の資産	3,534,650	4,815,332
貸倒引当金	△63,514	△63,241
投資その他の資産合計	3,471,136	4,752,091
固定資産合計	12,809,901	14,160,614
資産合計	42,051,774	45,256,139

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,842,469	7,445,826
短期借入金	896,410	665,467
未払法人税等	220,483	355,744
賞与引当金	337,321	326,041
役員賞与引当金	25,950	19,200
製品改修引当金	4,655	8,510
品質保証引当金	245,714	266,017
その他	1,879,669	2,322,287
流動負債合計	10,452,672	11,409,095
固定負債		
長期借入金	1,177,460	1,112,944
繰延税金負債	657,548	1,002,183
退職給付に係る負債	771,579	809,412
その他	583,396	598,169
固定負債合計	3,189,984	3,522,709
負債合計	13,642,657	14,931,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,059	2,323,059
資本剰余金	1,741,658	1,750,312
利益剰余金	18,387,494	18,785,552
自己株式	△160,589	△160,627
株主資本合計	22,291,623	22,698,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,102,467	1,926,164
為替換算調整勘定	4,364,633	5,039,603
退職給付に係る調整累計額	△2,826	8,673
その他の包括利益累計額合計	5,464,273	6,974,441
非支配株主持分	653,221	651,596
純資産合計	28,409,117	30,324,334
負債純資産合計	42,051,774	45,256,139

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	21,282,001	24,103,515
売上原価	16,951,681	19,479,237
売上総利益	4,330,319	4,624,278
販売費及び一般管理費	3,210,384	3,521,333
営業利益	1,119,935	1,102,944
営業外収益		
受取利息	25,921	25,230
受取配当金	23,237	30,577
持分法による投資利益	28,164	—
助成金収入	5,333	6,028
その他	35,776	43,698
営業外収益合計	118,434	105,534
営業外費用		
支払利息	22,257	25,470
持分法による投資損失	—	25,543
為替差損	292,327	27,883
その他	34,799	25,576
営業外費用合計	349,385	104,474
経常利益	888,984	1,104,004
特別利益		
固定資産売却益	786	3,218
投資有価証券売却益	—	10,504
特別利益合計	786	13,723
特別損失		
固定資産処分損	3,213	39,411
品質保証引当金繰入額	—	10,864
特別損失合計	3,213	50,276
税金等調整前中間純利益	886,557	1,067,450
法人税、住民税及び事業税	302,796	472,487
法人税等調整額	△12,584	△56,399
法人税等合計	290,212	416,087
中間純利益	596,344	651,362
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	1,318	△2,615
親会社株主に帰属する中間純利益	595,025	653,977

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	596,344	651,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,119	823,696
為替換算調整勘定	△757,848	705,134
退職給付に係る調整額	△18,569	11,499
その他の包括利益合計	△788,537	1,540,331
中間包括利益	△192,192	2,191,694
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△167,568	2,164,145
非支配株主に係る中間包括利益	△24,624	27,549

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	886,557	1,067,450
減価償却費	495,961	596,431
品質保証引当金繰入額	—	10,864
持分法による投資損益(△は益)	△28,164	25,543
固定資産売却損益(△は益)	△786	△3,218
固定資産処分損益(△は益)	3,213	39,411
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△10,504
助成金収入	△5,333	△6,028
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△112	134
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,504	△20,009
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	42,785	23,998
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,068	△6,750
製品改修引当金の増減額(△は減少)	△3,022	3,855
受取利息及び受取配当金	△49,158	△55,807
支払利息	22,257	25,470
売上債権の増減額(△は増加)	71,791	1,849,994
棚卸資産の増減額(△は増加)	187,425	△852,585
仕入債務の増減額(△は減少)	△524,781	518,992
その他	177,331	455,528
小計	1,267,399	3,662,772
利息及び配当金の受取額	49,164	56,100
利息の支払額	△22,207	△25,132
助成金の受取額	5,333	6,028
法人税等の支払額	△1,003,465	△74,247
営業活動によるキャッシュ・フロー	296,224	3,625,521
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△800,018	△345,666
有形固定資産の売却による収入	3,961	1,484
投資有価証券の取得による支出	△5	△100,006
投資有価証券の売却による収入	—	113,473
その他	△30,366	△51,713
投資活動によるキャッシュ・フロー	△826,428	△382,426
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	351,308	△159,452
長期借入金の返済による支出	△178,096	△142,796
自己株式の取得による支出	—	△38
配当金の支払額	△353,413	△255,919
非支配株主への配当金の支払額	△12,718	△13,779
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△6,740
その他	△84,411	△94,990
財務活動によるキャッシュ・フロー	△277,330	△673,717
現金及び現金同等物に係る換算差額	△161,264	305,226
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△968,798	2,874,603
現金及び現金同等物の期首残高	7,339,728	7,228,236
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,370,929	10,102,839

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結貸借対照表に関する注記）

（偶発債務）

当社が納入した特定の製品について不具合があるとの理由で、得意先からその製品の点検及び交換に関して発生した費用の負担を求められております。今後の協議結果によっては当社の連結業績に影響が生じる可能性があります。なお、現時点ではその影響額を合理的に見積もることは困難であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア (日本を除く)	
売上高				
一時点で移転される財	10,951,884	5,875,563	3,833,804	20,661,253
一定の期間にわたり移転 される財	620,748	—	—	620,748
顧客との契約から生じる 収益	11,572,632	5,875,563	3,833,804	21,282,001
外部顧客への売上高	11,572,632	5,875,563	3,833,804	21,282,001
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,459,982	2,437	3,544,275	6,006,694
合計	14,032,614	5,878,000	7,378,080	27,288,695
セグメント利益	659,123	40,218	426,085	1,125,427

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,125,427
セグメント間取引消去	△5,492
中間連結損益計算書の営業利益	1,119,935

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア (日本を除く)	
売上高				
一時点で移転される財	12,215,777	6,566,936	4,737,020	23,519,734
一定の期間にわたり移転 される財	583,781	—	—	583,781
顧客との契約から生じる 収益	12,799,558	6,566,936	4,737,020	24,103,515
外部顧客への売上高	12,799,558	6,566,936	4,737,020	24,103,515
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,618,537	12,051	3,839,496	6,470,085
合計	15,418,095	6,578,988	8,576,516	30,573,600
セグメント利益又は損失 (△)	750,253	△77,045	430,296	1,103,504

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,103,504
セグメント間取引消去	△560
中間連結損益計算書の営業利益	1,102,944

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報）」に記載のとおりであります。